

よしかわ

News from Yoshikawa City Council

議会だより

No.194

2022.8

発行：吉川市議会
編集：吉川市議会広報委員会
〒342-8501 吉川市きよみ野一丁目1番地
TEL.048 (982) 9421 (議会事務局 直通)
FAX.048 (981) 5392
<http://www.city.yoshikawa.saitama.jp>



目次CONTENTS

定例会概要	2
委員会審査概要	4
答えて市長！一般質問	6
請願	10
議員提出議案（意見書）	11
特集 ようこそ吉川市議会へ！	12
審議結果	14

議会だよりが
スマートフォンでも読めます

マチイロ

検索



6月定例会 概要

令和4年度吉川市一般会計補正予算を可決

令和4年6月定例会は、5月31日から6月14日までの15日間の開催となりました。

今定例会では、令和4年度吉川市一般会計補正予算（第2号）などの市長提出議案17件（2～3ページ）の他、1件の請願と3件の意見書（11ページ）を審議し、議決しました。（審議結果は14～15ページ。）

その他、「市政に対する一般質問」（6～10ページ）、特集ページの「ようこそ吉川市議会へ」（12～13ページ）では吉川市立美南小学校6年生の校外学習の様子をお伝えします。



令和4年度 一般会計補正予算（第2号）

既定の歳入歳出に4億8832万9000円を追加し、歳入歳出予算の総額は247億332万9000円となりました。



◆住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業

2億1431万6000円
コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」として、住民税非課税世帯等に対して臨時特別給付金を支給します。

◆DX推進事業

672万5000円
対象となるのは①令和4年度住民税非課税世帯と②家計急変世帯（すでに当事業で支給済みの世帯は除く）です。支給額は1世帯あたり10万円です。

◆子育て世帯生活支援特別給付金給付事業

8963万6000円
対象となるのは①令和4年度住民税非課税世帯と②家計急変世帯（すでに当事業で支給済みの世帯は除く）です。支給額は1世帯あたり10万円です。

◆新型コロナウイルスワクチン接種事業

9795万7000円
ひとり親世帯で対象となるのは、令和4年度児童扶養手当受給者の方等です。その他世帯で対象となるのは、令和4年度住民税均等割が非課税の子育て世帯等です。支給額は児童1人あたり一律5万円です。

◆新型コロナウイルス感染症対策事業

561万円
ひとり親世帯で対象となるのは、令和4年度児童扶養手当受給者の方等です。その他世帯で対象となるのは、令和4年度住民税均等割が非課税の子育て世帯等です。支給額は児童1人あたり一律5万円です。



主な議案のあらまし

◆吉川市重度心身障害者医療費※1支給に関する条例及び吉川市子ども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例

重度心身障害者医療費※1及び子ども医療費の支給について、県内全域の医療機関で現物給付化※2するものです。



◆吉川市ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

ひとり親家庭等医療費の支給について、県内全域の医療機関等で現物給付化※2するとともに、受給者が通院や入院時に負担していた一定の金額をなくするものです。

◆吉川市税条例等の一部を改正する条例

国の法令改正に伴い、個人住民税における住宅借入金等特別税額控除の延長、上場株式等の配当所得等に係る課税方式を所得税と一致させる措置その他所要の改正を行うものです。

◆吉川市議会議員及び吉川市長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例

国の法令改正に伴い、市議会議員及び市長の選挙における選挙運動に関する公費負担の限度額を国に準じて改正するものです。

◆吉川市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

令和3年の人事院勧告の趣旨を踏まえ、一般職の職員の間末手当の年間支給月数を0・15月分(再任用職員は0.1月分)引き下げます。

併せて、令和3年12月期末手当支給額の0・15月分(再任用職員は0.1月分)を、令和4年6月支給分から減額して支給します。

◆工事請負契約の変更契約の締結について

令和2年9月17日付けで効力が発生した吉川美南駅東口周辺地区1号調整池工事(その2)の請負契約について、調整池全体が想定以上の砂質土であったため、雨水等による法面※3崩壊を抑制する植生マットの整備や、グラウンドとして適していない表面の地盤の掘削をすることから、請負契約の変更をしようとするものです。

人事案件

◆人権擁護委員の推薦について

人権擁護委員の山崎秀晃氏が令和4年9月30日をもって任期満了となることに伴い、再度推薦することに同意するものです。

追加議案

◆吉川市一般会計補正予算(第3号)

・よしかわ生活応援給付金給付事業
生活に困窮する方々の生

活・暮らしの支援を図るため、住民税均等割課税のみの世帯(分離課税所得200万円以上の世帯及び住民税非課税世帯等)に対する臨時特別給付金を支給済みの世帯を除く。)を対象に1世帯10万円の給付を行うものです。

・プレミアム付商品券発行业

物価高騰の影響を受けた市民及び市内事業者を支援するため、市内参加店舗で使えるプレミアム付商品券を発行します。

商品券は、一冊5000円で6500円分の買い物ができます。一世帯あたり5冊まで購入可能です。



用語解説

※1 重度心身障害者医療費
重度心身障害者の福祉の増進を図るため、該当者が病院などで受診した場合の医療費の一部を市が負担するものです。

※2 現物給付

現物給付とは、対象者が医療機関の窓口で医療費を支払う代わりに、受給者証等を示すことで医療というサービス(現物)を受けられることをいいます。受給者証等が発行する自治体が医療機関にその医療費を支払うため、対象者の窓口負担がなくなります。

※3 法面(のりめん)

建築や土木で、人工的に造られた傾斜面のことです。法面はその表面の浸食や崩壊を抑止するために保護工事や補強工事が必要となります。



委員会審査概要

総務水道常任委員会

◆一般会計補正予算(第2号)

庁舎内空調中央監視装置増設業務の内容は。

庁舎内の湿度や換気の制御盤が政策室内(壁面に設置)にあり、財政課の職員が出向いて制御をしている。コロナ禍においてより細やかな制御を行うため、制御盤の機能を一部入れたサブパソコンを財政課に設置し、湿度や換気のごまめな制御を行うことで感染症対策とするもの。



システム導入委託料231万円は本来国庫補助金を充てるものではないか。また増額補正の理由は。

今回のオンライン化のための国庫補助金としてのメニューが用意されていないため臨時交付金を活用している。補正内容は行政手続きオンライン化のための業務フロー分析ツール導入と、フォローアップや研修である。

行政手続きオンライン化のための業務フロー分析ツール導入の効果は。

業務分析ツールの導入により、既存の業務フローの問題や課題が可視化され、職員の業務の効率化や負担軽減につながるものである。

吉川市DX推進計画アクション1で掲げるオンライン化が、今回の事業により全体でどの程度進むのか。
今回の事業はオンライン化

のごく一部であり、子育て・介護を中心にマイナポータルと接続する基盤づくりを行い令和5年度から順次手続きを開始する。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金2億2448万2千円が吉川市に交付された。その残額と、残額についての計画は。

残額は5513万5千円。今後、感染症対策や経済対策への活用を検討している。

賛成全員で可決



文教福祉常任委員会

◆吉川市重度心身障害者医療費支給に関する条例及び吉川市子ども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例

現状は。対象者は何人か。
これまでも市内は現物給付を行っているが、市外は一度支払いをしていたく償還払いだった。今回は県内全域に拡大するため提案している。人数は令和2年度末で1190人だった。

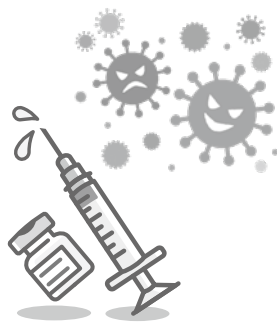
賛成全員で可決

◆一般会計補正予算(第2号) ワクチン4回目接種の対象者は。

4回目は、3回目を接種した60歳以上の方や基礎疾患などのある18歳以上の方で、3回目接種から5カ月が経過した方となっている。

4回目接種のスケジュールとワクチンの種類は。

3回目接種から5カ月を経過して接種が可能。6月26日から始まり、現在、国が示しているのは9月30日までとなっている。集団接種で使用するワクチンは武田モデルナとファイザーのワクチン。



中小学校のトイレの洋式化は完了するのか。今後の考えは。

昨年度と今年度については、臨時交付金を活用し、トイレの洋式化を進めることが出来たが、市単費で行うのは財政的にも厳しいところであ

る。三輪野江小、関小、北谷小、中曽根小、吉川小については、まだ和式便器が残っているが、3分の2以上は洋式化されている。今後は、様々な施設課題の中での優先度等も検討したうえで、有利な補助等を活用し機会を見ながら整備していきたい。

賛成全員で可決



建設生活常任委員会

◆工事請負契約の締結について（下水道管布設工事（その10））

ボーリング調査を行うにあたり、調査基準はあるか。

ボーリング調査を行うにあたり一律の基準はないが、他地区の事例を参考に構造物などを考慮し、事業の進捗に合わせボーリング調査を実施してきた。

賛成全員で可決

◆工事請負契約変更の締結について（1号調整池（その2））
ボーリング調査により、その結果をどのように活用しているのか。

ボーリング調査の結果は3箇所を平均し、粘性土と砂質土の割合を50%ずつと見込んで設計の参考としているが、この段階では粘性土層に砂が混じっている割合や、砂質土層に粘性土が混じっている割合を判断できない。

工事の変更内容が固まったのはいつか。

全体の土質を確認する必要がある。最近全体の掘削作業が終わり、これまでの土質確認を積み上げた結果をもとに変更内容が確定した。

賛成全員で可決

◆一般会計補正予算（第2号）
飼い犬へのマイクロチップ装着にあたり、飼い犬への影響を心配する声があるが、健康への影響は。

マイクロチップ装着は獣医師または愛玩動物看護師が行うこととされている。安全性については、様々な臨床試験で証明されており、シヨック症状等の報告もない。

賛成全員で可決



注目の議案

一般会計補正予算（第2号）

◆平和関連事業

令和4年2月24日に始まったロシア軍によるウクライナ侵攻に伴い、当市議会では3月2日に「ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対する非難決議」を可決しました。

吉川市ではウクライナからの避難を余儀なくされた方々を受け入れる際に必要な費用を支援します。

対象となる経費は、人道的観点から衣食住の確保や生活支援等に必要なもの、次のとおりです。①光熱水費、②建物借上料、③生活支援、④同行・語学支援。



◆畜犬登録事業

県内初！



要件を満たす方に、飼い犬のマイクロチップ装着費用等を補助します。

犬のマイクロチップ装着を後押しすることで各種手続きのオンライン化を推進し、迷い犬が飼い主の元へ戻る時に役立ちます。

補助の対象となる経費はマイクロチップ装着費と指定登録機関への登録手数料です。補助金額は一頭につき5000円（ただし指定登録機関への登録手数料に対する補助額は一律300円とし、5000円を下回る場合は支払った額）です。

この補助制度は県内で初めての取り組みです。飼育中の犬についての装着は努力義務ですが、愛犬を守り、地域で支えるため、装着を考えてみてはいかがでしょうか。

社会実験でバス共通パスを 6社との協議が課題



降旗 聡

問 市内バス事業者共通フリーパスを社会実験として取り組むことについて。

答 バス事業者ごとに定められた一定要件のもと、あらかじめ料金を支払うなどの手続きを行うことにより、期間中、そのパスで当該バス事業者のバスが利用できる仕組みで、市内バス事業者の一部で取り組まれている状況を把握している。

市内バス事業者6社との協議などが課題と捉えており、バス路線相互の乗り継ぎを踏まえた運行ダイヤの編成など、利便性向上に向けた取り組みの全体の中で、バス事業者や他地域の動向など情報収集に努める。

問 市内の観光資源や農産物直売所、一店逸品のお店や文化財などをまとめたガイドマップを作成して、9月20日の「バスの日」や21日の「敬老の日」を結めた期間限定のフリーパスで公共交通の利用促進を図ってみては。

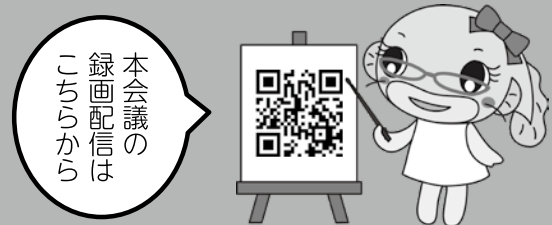
答 公共交通を推進するうえでは、バス路線の相互の乗り継ぎ、運行ダイヤの調整なども必要と考える。全体の中で調整が付き環境が整えば市民にとっても良いことだと考える。

答えて市長！ 一般質問

今定例会では、6月10日(金)、13日(月)、14日(火)の3日間にわたり16名の議員が市政全般について、市の見解をたしました。

主な内容を質問者が要約してお知らせします。詳細は会議録をご覧ください。

会議録は、ホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は、9月上旬となる予定です。



新型コロナウイルス感染症対策等 及び社会経済対策について



小野 潔

問 ①3回目のワクチン接種状況と4回目接種計画は②新型コロナ対応地方創生臨時交付金、約2億円を活用して「プレミアム付商品券の発行」「ひとり親家庭や生活困窮者や低所得者への市独自の支援」「原材料高騰を鑑みて学校給食費を値上げしないためにも原材料仕入れ対策」「公共交通事業者支援」等をご提案するがいかがか。

答 ①60歳以上で93%全体では75%の接種率、4回目は3回目から5ヶ月経過した60歳以上の方と18歳以上60歳未満の基礎疾患のある人。6月26日より開始。おあしす、中央公民館で集団接種。②プレミアム付商品券は30%プレミアム率で予定、生活困窮者対策は住民税均等割のみ世帯へ10万円の給付予定、給食原材料対策、公共交通事業者支援は状況を注視し適切な対応検討。

問 一日も早くロシア軍の撤退を願っている。今、この時だからこそ提案する。ウクライナに平和と安定が訪れた時、しかるべき都市と当市で姉妹都市交流締結をしては。

答 今の支援を考え将来については研究する。

高齢者見守り体制の拡充を



五十嵐 恵千子

問 今後、一層の高齢化社会を迎えるに当たり、生活反応センサーで高齢者等を見守る「緊急通報システム」と、高齢者等が迷い人になった時にご家族へ即時に居所を伝える「トコロんおかえりQR」事業の導入を提案する。ご見解は。

答 提案を十分に検証し、導入を検討する。

◆重い通学カバンの解消を

問 重い通学カバンの解消を求める声がある。置き勉の取り組み強化、運ぶ手段の選択、タブレット端末充電の考え方を伺い、問題解決を探る。

答 置き勉は更なる見直しで一層の徹底を図る。運ぶ手段はランドセルカバン以外でも可能。タブレット端末は「学用品の一つ」と捉え、毎日持ち帰りの学校は家庭で充電をお願いしている。

◆吉川駅北口ロータリー新構造計画は慎重に

問 安全安心で新たな時代を感じる構造計画を。

答 来春には吉川美南駅東口へのアクセスが向上し車の流れが変わるため、市民や市議会の意見を聞き検討する。

安全安心のまちづくり

松崎 誠



問 市街化調整区域の道路事情についての内、①東中学校区の通学路の道路整備、②道路改良整備後の放置車両道路使用問題、③大型車の通行量の多さから傷んだ道路、④玉葉橋付近の慢性的な道路渋滞の解消に向けた取り組みについて伺う。

答 ①長年、東中学校の通学路として利用されている道路であり現状では、幅員の狭いところがある。今後、道路後退が進み道路用地の確保が整った上で拡張整備を行っていく。②市では、以前より吉川警察に相談し事業者に注意して頂いており、市からも事業者と地権者双方に注意を促している。道路に置かれた場合は事故になる可能性もあるため、引き続き警察と連携しながら注意を促していく。③令和元年度と令和2年度に舗装工事を実施したところであり、令和4年度は、約240mの区間の道路補修整備を実施していく。現状の把握に努め、通行に支障をきたすことの無いよう対応していく。④河川防災ステーション整備と併せて、新たな交差点が整備され、川藤野田線については、左折レーンが整備され渋滞の緩和が期待できると伺っている。

部活の地域移行は どのように進めていくのか

稲葉 剛治



問 6月にスポーツ庁へ「部活動（運動部）の地域移行」について、有識者会議から提言書が提出された。この提言の中で令和5年度から3年間を改革集中期間として位置づけている。吉川市において部活の地域移行の今後のスケジュールはどうなっているか伺う。また部活の地域移行について生徒、保護者の理解をどのように得るか伺う。

答 市教育委員会としては、提言の要旨については把握している。今後、埼玉県の方針や近隣市町の動向をふまえ対応していく。生徒、保護者の方々におかれては、次年度に向けて学校現場の声を聞きながら、関係部局と連携を図り、吉川市としての考えを定めていく中で、ご理解を得られればと考えている。

問 埼玉県から情報が降りるのを待つ間に、生徒、保護者、現場の先生方、地域の方々からアンケートをとり、吉川市の部活動における実態を把握した上で、推進計画策定など今後に向けた準備をしておかなくてはならないか。

答 学校の現場と話し合いをして、どのように情報収集するかも含めて検討していく。

デジタルトランスフォーメーション 推進計画について

大泉 日出男



問 総務省が人にやさしいデジタル化をめざしてデジタル支援活用推進事業計画を2021年5月に示しているが、本市として公共施設を利用したのスマホ教室や講習会は、今後どのように展開をする予定か。

答 国のデジタル支援をうけて高齢者向けスマホ教室の開催を順次9月から開始をする予定。講師1名アシスタント1名の定員8名、1回60分、3日間、12教室、96人の計画。

問 デジタル障害者手帳「ミライロID」の検討をしてみてもどうか。

答 利便性が高まるので適用サービスを調査し前向きに検討する。

問 マイナンバーカードの登録普及推進のこれまでの周知方法、成果、今後の予定、課題は。

答 平成28年1月からスタート、広報紙、HPでの周知、休日開設等様々な工夫をした結果、年間で1700件から約1万件へ増加、定額給付金支給やワクチン接種情報関連の周知をきっかけに、41.7%までになった。課題は、今後窓口混雑が予想されるので、混雑回避の為、郵送での申請、来庁お渡しの工夫も検討する。

吉川橋完成予定と開通式は 市内中学制服リユース事業

赤出川 義夫



問 吉川橋の工事の進捗状況と、完成予定及び開通式の予定は。

答 吉川橋から挨拶通りの区間は、令和4年7月末完成を目指している。開通式は工事完成後の記念行事の開催に向けて地元団体と調整を進めていると県から伺っている。

問 市内中学校の制服リユース事業について。子育て家庭の経済的負担の軽減と、資源の有効活用及び循環利用を推進するため、卒業や成長で不要になった中学校の制服やジャージ等を譲り合う取り組みについて伺う。

答 平成30年度末から市社会福祉協議会において、制服バトンタッチ事業として実施されている。生活に困窮する世帯を対象に保護者の経済的負担の軽減を図る目的で事業化。実績としては令和2年度は9件、令和3年度は16件の制服貸与を行った。今後も、制服を必要とするご家庭・子どもたちに支援が行き届くよう、内容も工夫しながら引き続き事業を進めていく考えである。

性教育＝人権教育の充実を**雪田 きよみ**

問 昨年3月、旭川市で中学2年生のいじめ被害者が凍死体で発見される痛ましい事件が起こりました。いじめの内容は想像を絶するものであり、性教育を人権教育として充実させる必要性を改めて感じます。市の見解は。

答 教育長から校長会・教頭会において「命と人権を脇に置いた教育はない」との考えを繰り返し伝えていきます。

問 2018年朝日デジタル調査では、90.2%が中学生までに性交の意味を知り、31.7%が新聞・雑誌・漫画・書籍から知識を得ています。学習指導要領において「性交は取り扱わない」との歯止め規定がされています。教えないことが逆に歪んだ知識を得るリスクを助長していると考えます。助産師等を活用し、正しい知識を子どもたちに与えていただきたいと考えます。

答 令和2年11月、文科省中等教育局長が「学校において必要と判断した場合、指導したり、個々の生徒に対応して教えることができる」と述べています。歯止め規定がある中で、やってはいけないというものではなく、保健・養護の部会とも一緒に指導方法を考えていきます。

ワクチン接種再開にあたり正しい情報の提供を**稲垣 茂行**

問 子宮頸がんの原因となるHPV（ヒトパピローマウイルス）ワクチン接種再開の根拠、理由。

答 予防接種法に定めるA類疾病の予防接種として、市が実施主体として予防接種を行い、対象者には努力義務が課せられている。

問 実施内容（対象・申し込み等）は。

答 小学6年生から高校1年生相当の女子が対象。加えてキャッチアップ接種の機会を提供する。申し込みは、個別に医療機関へ。通知にはワクチンの効果やリスクを記載。

問 ワクチンの予防効果は0.01%、検診は。

答 子宮頸がんはワクチン接種で100%予防出来ない。早期発見、早期治療のためには定期的な検診が重要。検診は20歳以上で2年に1回、偶数年齢の方を対象に集団・個別で実施。

問 HPVは性交渉で感染する。感染予防には、ワクチン接種とともに小中学校での性教育が大切だと考えるが現状は。

答 学習指導要領では、小4及び中2で「体の発達」、小6及び中3で「がん」さらに中3で「性感染症」について学ぶ。子宮頸がんについての、具体的取り上げはされていない。

三輪野江南部地区工業団地の開発方式は**飯島 正義**

問 市は、常磐自動車道南側から三郷市境までを新たな工業団地として計画し、地元説明会も行っている。

①今後の工業団地開発の手法と、県との協議はどのように進める計画か。②物流倉庫を建設するとして地権者と話し合いをしている企業との関係はどのように考えているか。

答 ①事業化と事業完了の確実性、迅速性等を考慮し、埼玉県企業局と市の共同事業方式による工業団地用地開発を検討したいと考えている。今回の地元説明では基本的な方針等を示した。②複数の民間企業が開発を計画していることは承知している。市に企業から相談があれば協議していく。

◆「吉川市非核平和都市宣言」を提案します

問 ロシアの核使用も辞さない発言から、日本では核兵器共有論等が語られ、多くの国民に不安を与えている。今、核兵器をなくす社会を実現するためにも、「非核」が大切だと考える。

答 吉川市都市宣言は、非核三原則の遵守と核兵器の廃絶や世界の恒久平和を強く願う主旨の宣言である。変更については考えていない。

特性がある子どもに関わる施設・団体と学校の連携を**林 美希**

問 こども発達センターと学校の連携は。

答 就学が大事な転換期、保護者が子どもに適した選択ができるよう連携を図っている。

問 特別支援学級に在籍し学童へ通う児童について、学童へのフォロー体制は。

答 令和2年度から保育幼稚園課内に配置した保育士が学童支援員からの相談対応やアドバイスにあたっている。こども発達センターとして、令和3年度から始まった保育所等訪問支援事業の訪問範囲を拡大し、小学校や学童保育室でも活動できるよう、保護者や学校関係者に説明を行っていききたい。

問 放課後等デイサービスは、福祉的観点からの知見を持っている。ただ、どの児童生徒がいつどこに通っているか流動的で把握が難しいとも思う。教育現場の方が迷わないよう、教育委員会として連携スキームの強化検討をしては。

答 他県では学校と放課後等デイサービスとの連携マニュアルを作っているところもある。学校と放課後等デイサービス、それぞれ子どもに対する支援計画を作っている。放課後等デイサービスが増加しているので、福祉部門と連携しながら共有できるものはないか研究していく。

吉川駅北口を利用しやすい ロータリーとするために

遠藤 義法



問 市が計画した駅北口ロータリー改修計画は、一般車両のロータリー内への侵入を抑制するなど市民の理解が得られない。市民からは改修案も示されており、再考すべきと考える。吉川美南駅へのアクセス道路の整備計画は。

答 一般車両とバス路線を分別した配置や有料駐車場をつくる計画を作成した。議員や市民からの意見を参考に、警察と協議して見直す。吉川美南駅東口ロータリーへの幹線道路は、来春暫定供用開始する。既存の道路改修整備は、時間と費用が掛かるが、できる範囲で努力する。

◆生活環境を守る空き家対策を

問 空き家対策計画を策定し、予防対策など掲げた。しかし、対応に時間がかかりすぎるとの意見もある。専門職員の配置など今後の対応は。

答 倒壊の危険性のある1軒を認定し、解体していただいた。空き家の特徴は、雑草や樹木が繁茂し、周辺の良好な生活環境に影響を及ぼしている。所有者・管理者が定かでない家屋もあり、関係各課と連携して対応する。必要な職員配置については市役所全体の中で検討する。

尿漏れパッドが必要な男性 にも配慮を

吉川 敏幸



問 前立腺がんや膀胱がんの治療後、尿漏れパッドが生活に欠かせないケースがあるという。前立腺がんは男性の部位別がん罹患数のトップとなっている。市の施設のうち、男性トイレにサンタリーボックス（汚物入れ）を設置している施設は何カ所か、また、今後の予定は。

答 5月末から設置を始めている。6月14日時点で7施設37カ所に設置している。今後については、対象施設に順次設置を進める。

◆物価上昇による家計負担の軽減を

問 昨今の物価上昇を受け、全国では、給食を安価な食材に切り替えたり、保護者負担を増やしたりする自治体も出ているという。今後、更なる物価上昇が生じた場合、国からの交付金や県からの補助金等を活用し、保護者負担を増やさない考え、決意はあるのか。

答 どうしても給食費を上げざるを得ない、品数を減らさなければならぬというような事態が生じた場合には、交付金を充当することを考えていきたい。

米価下落、エネルギー高騰 全ての稲作農家に支援を

岩田 京子



問 稲作を持続し、田の多面的機能を維持することは非常に重要で、全ての農家への支援が求められる。近隣自治体ではコロナ対策として、お米を作る全ての農家を支援するために「稲作次期作支援金」等で種苗代や肥料代、またそれに見合う金額の補助金を出している。稲作面積割合の大きい加須市（41%）、羽生市（36%）はもちろん、白岡市・春日部市（26%）、坂戸市（15%）等、県内20自治体以上で取り組まれている。吉川市（30%）では飼料用や加工用等、非主食用米への補助金になっているが、全ての稲作農家の支援についてどう考えたのか。

答 市と農業者、農業機関、市議会議員等で構成された吉川市地域農業再生協議会で、米粉用・飼料用・輸出用等、主食用米以外の作付けを推進するという取組方針を決めた。今回の取組はその取り組み方針に沿った補助金である。主食用米への補助は、協議会でつくった方針から外れ、過剰生産の適正化、米価格の安定に繋がらないと考える。今回、様々な農家に伺ったところ、「一律や一過性の支援は解決に繋がらない。」との意向だった。

小松川工専内の産廃車問題 急増にどう対応するのか

伊藤 正勝



問 小松川工業専用地域の実状について。事業所の総数。従業員の数。市税納税額。産廃事業所と産廃車両の数について確認したい。

答 金属、プラスチック加工等計101の事業所が立地。従業員数は2,100人前後。市税は法人市民税が4,270万円。固定資産税・都市計画税が9,040万円余（R3年度）。産廃の事業所は6ヶ所。産廃車の出入りについては把握していない。

問 大勢の人が働き、納税に貢献をいただいている。苦情の声を受けて現地に入り産廃の事業者や周辺の10数カ所の企業を訪問してきた。これまで小松川を見つめてきたが産廃車は急増。連日300から500台を超え全体の環境や交通事情は劣化している。SDGsの時代。このままで持続可能なのか。市の認識、市長の見解を伺う。

答 騒音、振動、悪臭等市担当の分野についての苦情はなく、著しく劣化しているとはとらえていない。工業会の皆さんとともに市や市民団体も加わり定期的に環境パトロールも行い保全に努めている。小松川は工業専用地区であらゆる業種が進出できる。みんなで連携し、生産活動ができるようにと考え、協力していきたい。



吉川市のまちづくりは市長
の考え方や行動が問題では

齋藤 詔治

問 現在、市は多くの事業を実施し、計画も進んでいます。各現状を伺います。①吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業の課題解決と工事の現状は。②東埼玉テクノポリス周辺の拡張事業の許認可等は。③三輪野江地区将来開発エリア内に、三輪野江南部地区工業団地の開発に向けた、地域意向調査及び地域説明会の内容は。④吉川市農業パーク計画候補地を、三輪野江の農業拠点検討エリア内に位置付けた事は問題では。⑤吉川美南駅前公共施設整備構想・計画等の事業は、先行きが見通せない昨今の社会情勢を踏まえ、越谷市が越谷サンシティの再開発事業を1年間延期したように、事業スケジュールを再考しては。以上すべての事業は、土地所有者、地域関係者、進出事業者、行政庁の許認可等、様々な事柄が関係しており、真のまちづくり行政は各種法体制に基づき、責任を持ったまちづくりをするべきです。

答 それぞれの地域が発展できる仕組みを考え、国・県と毎日しっかりと話をしています。もう少し時間をいただければと思います。

ホームページ、

ぜひご利用ください！

市のホームページでは、意見書の全文や本会議の会議録、議会活動などがご覧いただけます。ぜひ、ご利用ください。

吉川市議会



請願

請願とは、国民に認められた憲法上（第16条）の権利の一つで、国または、地方公共団体の機関に対して意見や希望を述べ、その手続き等は請願法によります。

市議会への請願には、議員の紹介が必要です。

大字三輪野江地内の水路整備に関する請願

提出者

農事組合長 日暮 清

紹介議員

大塚 茂 他18名
飯島 正義 議員
齋藤 詔治 議員

【要旨】

私たちが居住する①大字三輪野江2225番地から三輪野江2235番地先の東西に流れる水路と②大字三輪野江2254番地から三輪野江2268番地先の南北に流れる水路の現状を調査し、早急に整備をはかってください。

【理由】

当水路は素掘りで流れが悪く、悪臭や蚊などの発生源となり、近隣住民は日常的に悩まされています。また、あぜ道や民家の敷地が浸食される箇所もあり対策に苦慮しているところです。

一方、大雨時にはしんぎぼりの水位があがることにより水路の水が排水出来ないため、滞留していた悪水の水田への越水が起きています。

住民の苦悩を理解いただき、当水路の整備を早急に実施していただくよう請願いたします。

本請願は、付託された建設生活常任委員会と本会議で採択され、付帯意見が可決されました。

付帯意見

本請願の実現に向け、市は三輪野江自治連合会内はもとより市街化調整区域全体の水路の状況を勘案しながら、地域住民との連携を図り支援にあたること。



議員提出議案

意見書

意見書は、地方自治法第99条に基づき、市の公益に關することについて、国会や関係行政庁に対し、議会の意見をまとめて提出する文書のことです。

今定例会には、3件の意見書が提出され、次の2件を可決、内閣総理大臣等へ送付しました。

教員不足解消のため、定数改善など抜本的な改善を求める意見書

文部科学省は1月31日、全国の公立学校の「教師不足」に関する実態調査結果を初めて発表しました。2021年4月の始業日時点で、小中高校、特別支援学校で2558人の教員が未配置となり、5月1日時点でも2065人が未配置という深刻です。

埼玉県は168人不足し深刻な事態です。小学校では教頭などの管理職が学級担任を代替したり、中学校や高校では教科担任の不足により一時的に必要な授業が行えなかつたりする影響が生じました。

教員の未配置が生じる最大の原因は、平均勤務時間が一日約12時間と

いう異常な長時間労働にあります。精神疾患の休職者が毎年5千人を超えるなど、病休や中途退職に追い込まれる教員が後を絶たず、学期が進むほど病休などが増えて教員不足は加速しています。

教員不足の問題に詳しい慶応大の佐久間亜紀教授は、「最大の要因は財政難の下、少子化がさらに進むと見込んで、採用されるべき正規教員の数が減らされ過ぎて、年度初めから非正規に依存する状況が作られている。その上、長時間労働の実態が広く知られ教員志望者が激少している」と指摘しています。(5/7朝日)

こうした事態を改善するため、現在の教員定数を定める義務教育標準法を抜本的に改善すること、教員評価や行政研修など教員の負担を可能な限り減らしていくこと、少人数学級の前倒し実施、非正規教員の正規化と待遇改善などが求められます。

よって国におかれては、新型コロナウイルスの感染拡大で子どもたちへさらに

きめ細かな対応が求められる現在、学校現場の疲弊と教職員の多忙化を解消するため、正規教員増を図るため抜本的な対策を講じるよう強く求めます。

水道事業の施設整備に対する支援の拡充、財源確保を求める意見書

水道は国民の日常生活や社会経済活動を支える重要なライフラインであり、その普及率は、97・9%まで達し、これまでの拡張整備を前提とした時代から、既存の水道施設を持続可能なものにしていくことが求められる時代に変化してきている。

現在、水道事業を取り巻く状況は、高度経済成長期に整備された老朽施設の更新や耐震化事業の遅れが大きな課題となっている。また、ハード面の課題に加え、給水需要の減少等による収益の低下や水道事業に携わる職員の技術の維持なども大きな課題となっている。

水道は国民生活や産業活動に不可欠なものとなっているが、近年、全国では地震や豪雨などにより水道管や施設が破損し、断水したことにより住民生活に大きな支障が生じたところである。このような様々な課題

を抱えており、早急な対策が求められる。

よって、国におかれては、地方公共団体等とこれまで以上に連携を深めながら、水道事業の施設の維持、更新事業を強化し、将来にわたり持続可能なものとするため、次の措置を講ずることを強く求める。

記

1. 国民の命を守るインフラ施設である水道施設の更新・維持・管理のため、水道施設整備に係る国庫補助所要額を確保するとともに、現行の補助要件の緩和を行うこと。
2. 将来にわたり、安全な水の安定供給を維持していくため、水道施設の管理者である地方公共団体等とこれまで以上に連携を深めながら、適切な資産管理の推進、財政基盤の確保、技術力等を有する人材の育成・確保等の推進に関する支援を強化すること。



特集

ようこそ 吉川市議会へ!

令和4年6月28日、30日、7月1日の3日間
吉川市立美南小学校6年生のみなさんが校外学習にいらっしゃいました。

1. 当日の内容 市議会や市役所って どんなところ?



6年1組から6組まで、各クラス2班に分かれて議場や市役所の見学を行いました。議場では、議会事務局の職員が議場や市議会の仕組みについて説明を行いました。市役所見学では、1階と2階の窓口で職員が対応する様子を見たり、各課の仕事内容について聞いたり市役所の仕事について勉強しました。



2. 議会を体験!



議場の設備を実際に使用して、各クラスの班ごとに事前に考えた議題に対して模擬議会を行いました。進行は各班の議長により行われ、議員となった児童たちが自身の考えを述べました。議論を終えた後は、採決を行い、各班の考えを決定しました。真剣な表情で相手側の話を聞き、納得できるまで議論を交わしている様子は、本会議さながらに白熱していました。



6年1組

A班

賛成「誰かがはぐれた時にすぐ連絡をとれるから」
「写真を共有し合い仲を深められるから」
反対「持っていない人が仲間外れにされてしまうから」

B班

賛成「荷物が多いと徒歩は大変だから」
反対「バスはお金がかかるから」「トラブルが発生しやすいから」

↓賛成8名、反対10名



6年2組

A班

賛成「時計を見て行動できるようになるから」
「並ぶと時間がかかるから」
反対「一人で行くと時間に遅れる人がいるから」

B班

賛成「美南小は人数が多くて校庭だけだと遊ぶ場所が少ないから」
反対「中庭は床が硬いし柱があつて危ないから」
「騒がしい声が隣の公共施設の迷惑になるから」

↓賛成6名、反対10名



6年3組

A班
美南小の校庭は人工芝が良い。

賛成

「雨が降っても地面がぐちゃぐちゃにならないから」

反対

「人工芝は硬いため転ぶと怪我をするから」

↓賛成10名、反対6名

B班
ランドセルではなく、リュックで登校する。

賛成

「ランドセルよりリュックの方が肩が痛くならないから」

反対

「ランドセルの方が慣れているから」「ロッカーに入らない大きさのリュックもあるから」

↓賛成13名、反対4名



6年4組

A班
放課後は外で遊ぶのが良い。

賛成

「外で遊ぶ方が健康的でストレス解消にもなるから」

反対

「屋内なら、天候に左右されずに遊べるから」

↓賛成13名、反対5名

B班
体育着の長袖・長ズボンをつくったほうが良い。

賛成

「冬に寒くて授業に集中できないから」

反対

「長袖長ズボンを着て運動をすると暑くて結局脱いでしまうから」

↓賛成5名、反対12名



6年5組

A班
授業の時間は短い方が良い。

賛成

「早く帰れると習い事や遊ぶ時間ができるから」

反対

「学習内容が終わらなくて休日に学校へ来ることになるから」

↓賛成10名、反対8名

B班
週休3日が良い。

賛成

「自分で勉強する時間や家族と遊べる時間が増えるから」

反対

「働く時間が減ると給料が少なくなると家計が苦しくなるから」「友達と遊ぶ時間が減るから」

↓賛成9名、反対8名



6年6組

A班
学校の服装は私服よりも制服の方が良い。

賛成

「毎日、どの服を着るかわからず悩むから」

反対

「いつも同じ服ではつまらないから」

↓賛成5名、反対11名

B班
体育の時間にマスクをはずしても良い。

賛成

「熱中症になる可能性があるから」「十分な呼吸ができるから」

反対

「2メートル以上の間隔を維持できるとは思えないから」

↓賛成8名、反対9名



佐賀県鹿島市議会
議会運営委員会視察来庁

「高校生議会等の
取り組みについて」

6月29日に、佐賀県鹿島市の議会運営委員の皆さんが視察のため来庁されました。視察の内容は、平成29年から令和元年にかけて実施した、議会広報委員会における吉川美南高等学校の生徒の模擬議会等の取り組みについてです。

当日は、当時の議会広報委員会委員長の五十嵐恵千子議員と副委員長の林美希議員から、開催に至った経緯や関係各所と調整する際の留意点等の説明を行いました。

6月定例会審議結果一覧

○=賛成、×=反対、議=議長(議決に加わりません)
◎=議案提出者、— =退席、除=除斥

	議決結果	自由民主党			市民の会			未来会議		共産		公明		無	無						
		赤出川 義夫	吉川 敏幸	加藤 克明	中嶋 通治	松崎 誠	岩田 京子	稲垣 茂行	伊藤 正勝	齋藤 詔治	稲葉 剛治	戸田 馨	林 美希	遠藤 義法	飯島 正義	雪田 きよみ	小野 潔	五十嵐 恵千子	大泉 日出男	成本 直寛	降旗 聡
<市長提出議案>																					
専決処分事項の承認について (吉川市税条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分事項の承認について (吉川市都市計画条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市重度心身障害者医療費支給に関する条例及び吉川市子ども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市税条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市議会議員及び吉川市長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結について (吉川美南駅東口周辺地区下水道管布設工事その10)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結について (吉川美南駅東口周辺地区水路工事その11)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の変更契約の締結について (吉川美南駅東口周辺地区1号調整池工事その2)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の変更契約の締結について (吉川美南駅東口周辺地区1号調整池工事その3)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
損害賠償の額を定めることについて	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市道の路線認定について	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員の推薦について	同意	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度吉川市一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度吉川市一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度吉川市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

	議決結果	自由民主党					市民の会			未来会議		共産		公明		無	無				
		赤出川 義夫	吉川 敏幸	加藤 克明	中嶋 通治	松崎 誠	岩田 京子	稲垣 茂行	伊藤 正勝	齋藤 詔治	稲葉 剛治	戸田 馨	林 美希	遠藤 義法	飯島 正義	雪田 きよみ	小野 潔	五十嵐 恵千子	大泉 日出男	成本 直寛	降旗 聡
《請願》																					
大字三輪野江地内の水路整備に関する請願（請願第2号）	採択	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第2号に対する付帯意見	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○
《議員提出議案》																					
教員不足解消のため、定数改善など抜本的な改善を求める意見書	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○
水道事業の施設整備に対する支援の拡充、財源確保を求める意見書	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
有機農業耕作地拡大のための支援策の強化を求める意見書	否決	×	×	議	×	×	◎	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○

* 会派名の「自由民主党」は「自由民主党吉川市議員団」、「市民の会」は「市民の会・無所属」、「未来会議」は「未来会議よしかわ」、「共産」は「日本共産党吉川市議員団」、「公明」は「公明党吉川市議員団」の略です。「無」は会派に属さないものです。

市議会豆知識

【市議会の構成】

○市議会議員

市民の中から選挙で選ばれた「市民の代表者」が市議会議員です。市内に3カ月以上住んでいる満25歳以上の人が立候補できます。吉川市の議員定数は、条例で20人と定められています。

○会派

市政に対して同じような考え方や意見を持った議員でグループを作って活動しています。このグループを会派と言います。吉川市議会には現在5つの会派があります。

○議長と副議長

議長と副議長は議員の中から選挙されます。議長は議会の代表者として議会の秩序を保ち、会議の進行、議会内の様々な事務を処理します。副議長は、議長を補佐し、議長が病気などの時には代わりにその職務を行います。



新型コロナウイルス感染症対策へのご協力ありがとうございました

今定例会につきましても、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止にご協力をいただき、ありがとうございます。引き続き、皆様のご協力のもと議会運営を進めて参りたいと思えます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



◆ご意見・ご感想をお寄せください◆

議会だよりをご覧になったご意見・ご感想をお寄せください。

〒342-8501

吉川市きよみ野一丁目一番地

吉川市役所 議会事務局

FAX 048(981)5392

次定例会の予定 市の重要な施策や皆さんに身近な問題が審議されます

日	月	火	水	木	金	土
本会議は10時、委員会は9時30分に開会します。 本会議の様子はインターネットでもご覧いただけます。					9月2日 本会議 (開会日)	9月3日 休会日
9月4日 休会日	9月5日 休会日 (議案調査日)	9月6日 本会議 (議案審議)	9月7日 本会議 (議案審議)	9月8日 休会日 (議案調査日)	9月9日 委員会 (総務水道・文教福祉)	9月10日 休会日
9月11日 休会日	9月12日 委員会 (総務水道・文教福祉)	9月13日 委員会 (建設生活)	9月14日 委員会 (建設生活)	9月15日 委員会 (請願審査)	9月16日 休会日 (委員長報告作成日)	9月17日 休会日
9月18日 休会日	9月19日 休会日	9月20日 本会議 (委員長報告)	9月21日 本会議 (一般質問)	9月22日 本会議 (一般質問)	9月23日 休会日	9月24日 休会日
9月25日 休会日	9月26日 本会議 (一般質問・閉会日)					

傍聴時のお願い

- 静粛にすること ● 議場での言論に対し、拍手等により可否を表明するような行為を行わないこと
- 騒ぎ立てる等議事を妨害しないこと ● 携帯電話等の電子機器の電源を切ること ● 係員の指示に従うこと

「よしかわ議会だより」の音声版を「朗読サークルきんもくせい」の協力で作成しています。
ご希望の方は、議会事務局へご連絡ください。

表紙の写真

美南小学校6年生のみなさんが校外学習で議場に来られました。選挙や議会を通じてどのように市民のみなさまの意見が反映されていくかを学び、議場を使った模擬議会では自分たちで決めたテーマについてそれぞれが意見を述べ、聴き、採決にあたっていました。このように自身の意見を大切にしながら相手の意見を尊重し、物事を決定する経験を重ねることが大切だと思います。この様子については特集ページに詳しく掲載しています。見学をご希望の方は議会事務局まで！



編集後記

今定例会の補正予算の財源は、ふるさと納税を財源としたウクライナ避難民の支援に掛かる平和関連事業以外は追加議案も含めてすべて国庫支出金でした。国からのコロナ関連予算で4回目のワクチン接種、生活に困窮する方々への給付策、地域経済活性化のためのプレミアム付商品券の発行など様々な事業を展開します。国の財政出動によって、地方は単費では出来ない大きな事業が出来るのです。

海外ではマスク無しの生活が当たり前となっています。マスクをしながら通学する小中学生の姿。黙食により給食が楽しくないという声。場面に応じてマスクを外しても良いのでは。一刻も早くコロナ禍以前の子どもたちの笑顔と活気が戻ることを願います。

吉川 敏幸